

6月13日「心と頭の貯金箱―読書旬間が始まります―」

みなさん、おはようございます。

今週から読書旬間が始まります。読書（本を読むこと）は「心の貯金箱」とも言われています。読書をすることによって、登場人物の気持ちを考えて、嬉しくなったり、悲しくなったりして自分の心が揺れ動きます。また、物語がこの先どのようなことになるのかなとハラハラドキドキ、ワクワクすることもあります。そういう心の動きや感動が、みなさんの心を豊かにしているのです。

今の時代は、アニメや映画など動画を見ることが多くなり、本を読む人が少なくなっていると言われています。文字を読む場合と動画を見る場合と、人間の想像力は、どちらが成長するかを研究した結果があります。

結果は、文字を読む方が良かったそうです。その理由として、文字を読むことで脳の働きが良くなりイメージを膨らませることができるようになるからだそうです。また、考える力も高まるそうです。読書は「頭の貯金箱」とも言われ、今まで知らなかったことやためになることを学び、知識を増やすこともできます。読書は心にも頭にも栄養を与えてくれます。

読書旬間では、1日の中で集中して本を読む時間を作ってみましょう。そして、今まで読んだことの無い本にも挑戦してみましょう。たくさん本との出会いができるといいですね。

図書委員会のみなさんも楽しい企画を考えてくれています。そちらも楽しみにしててください。

それでは以上で全校朝会のお話を終わります。（礼）

